

公益財団法人 日本キリスト教婦人矯風会 講演会

「原発といのちは共存しない。」
核のゴミ捨て場を拒絶した高知の運動から



2024年1月に日本中を震撼させた能登半島地震。
復旧の困難もあり、避難の長期化による健康の心配もあり、
被害の深刻さに胸が痛みます。
今、私たちの四国にも起きるであろう地震災害の
最も大きな脅威は、原発被災の脅威です。
今こそ、安心できる未来を共に考えませんか？

日時 2024年5月8日(水)
受付 14:00~14:20 講演 14:25~15:15
場所 日本基督教団 高知教会 礼拝堂(裏面地図)
講師 外京(げきょう) ゆりさん(グリーン市民ネットワーク高知)
参加費 500円(税込み)

どなたでもご参加いただけます。

主催 公益財団法人 日本キリスト教婦人矯風会
連絡先 四国部会 佐藤 090-5141-3766

<https://kyofukai.jp>

◆2024年5月8日(水) 高知教会 礼拝堂

礼拝受付 13:00~13:30

開会礼拝 13:30~14:00 黒田若雄牧師(日本基督教団高知教会)

講演会受付 14:00~14:20

講演会 14:25~15:15 「原発といのちは共存しない。

~核のゴミ捨て場を拒絶した高知の運動から~」

講師 外京ゆりさん(グリーン市民ネットワーク高知)

報告 15:15~15:45 矯風会の脱原発への取り組みについて

鏡 清美(日本キリスト教婦人矯風会副理事長)



◆講師紹介

外京ゆり 反原発被ばく市民団体「グリーン市民ネットワーク高知」共同代表。

1949年高知県出身、在住。高知大学中退後、大阪・東京で働きながら看護資格を取得。臨床と看護教育を通して自然治癒力を研究。人の健康を社会的文化プロセスで捉える考え方に親しむ。セルフケアとして、自力整体・温熱療法テルミーを実践中。

◆お伝えしたいこと(講師より)

今年は正月早々、M7.6の能登半島地震が志賀原発近くで起き、また2月26日には運転中の伊方原発からわずか20kmでM5.1の地震が起きました。

いつ、どこで、どんな地震が起きるか予知できない、地震列島に住む私たち。

また、広島、長崎、ビキニ、福島と、被ばくの怖ろしさを知っているはずの私たち。

それなのに、なぜ、原発を止めてしまえないのでしょうか。

この世界を悪魔のような力で大惨事へと引っぱっていく勢力と、微力でも力を合わせることでそれに抗おうとする人々の底知れぬパワー。その一端を、お伝えしたいと思います。

◆会場地図

日本基督教団 高知教会 礼拝堂

高知市本町5丁目3-12

(交通機関)「とさでん交通」の路面電車に乗車、JR高知駅南口から「棧橋通り行き」に乗車し、はりまや橋下車、後方の「鏡川橋・いの方面行き」電車に乗り換えて、グランド通下車、徒歩約1分<空港バスの場合は、はりまや橋下車、路面電車へ>



公益財団法人 日本キリスト教婦人矯風会とは・・・

1886年(明治19)創立。日本で一番歴史の長い女性団体です。キリスト教精神に基づいて、女性の視点に立ち、すべての人々の人権と平和が守られるよう、困難な状況にある人々、特に女性と子どもへの支援に努め、社会全般の福祉の増進に寄与することを目指しています。具体的には、武力によらない平和、女性・子どもへの暴力問題などをテーマとした学習会・講演会を多く開催しています。女性のための施設として、シェルター運営も行っています。